

趣 意 書

盛夏の候 同窓生各位におかれましてはますますご精栄のこととお喜び申し上げます。

ところで、母校新潟大学農学部は、前身の新潟県立農林専門学校を母体に昭和24年「国立学校設置法」の公布により、当初農学科・林学科・総合農学科の3学科で発足しました。その後、昭和34年に総合農学科が廃止され農芸化学科ができ、昭和39年に農業工学科が、昭和40年に畜産学科ができ、5学科体制になりました。

昭和49年には新潟大学の統合移転により、河渡キャンパス（新潟市東区小金町）から五十嵐キャンパス（新潟市西区五十嵐）に移転しました。

平成3年の学科改組で「農業生産科学科」・「応用生物化学科」・「生産環境科学科」となり、平成13年には附属農場と附属演習林を改組して「附属フィールド科学教育研究センター」が設置されました。

発足以来、7,700余名の同窓生のご努力により日本の学術・農業・経済・教育等各分野の発展に大きく貢献してまいりました。

さらに、最近話題になっています、佐渡の「トキ野生復帰」プロジェクトでは、農学部の教員・学生の取り組みが大きな成果をあげております。

また、教員と学生の真摯な取り組みにより就職率98.8%（平成24年3月卒業）と全国トップクラスで、経済誌でも就職に強い学部として紹介されています。

このような発展は、同窓生各位が日頃より母校農学部の教育実践・学術活動に特段のご理解とご支援をいただいた賜と衷心より感謝申し上げます。

移転以来約40年が経過したことから、校舎の耐震・大規模改修工事が平成21年度から始まりましたが、これによって昭和50年に同窓生各位のご尽力で植栽された「前庭・嵐丘庭」の樹木が残念ながら、ほとんど全て伐採を余儀なくされてしまいました。

学部からは学習環境整備の観点から、「前庭・嵐丘庭」を再度復元して欲しいとのお願いが同窓会に寄せられております。

このたび、農学部同窓会創立60周年を迎えるに当たり、母校農学部の「前庭・嵐丘庭」の復元を中心とする記念事業を別紙の通り計画いたしました。特に「前庭・嵐丘庭」は100年先を見据えた計画を学生・施工者（同窓生）で鋭意準備を進めています。

同窓生各位におかれましては出費多端のおり誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成24年7月吉日

新潟大学農学部同窓会長
進 藤 隆
新潟大学農学部同窓会
創立60周年事業実行委員長
三 沢 眞 一